

ホタテ貝焼成カルシウムを原料に3種の製品を新発売

テイクネット

新工場
完成



旧工場の3.4倍

同社の生産工場である(株)テイクファクトは先月28日、滋賀県近江八幡市船木町に移転。主力の「洗濯槽快」は昨年、87万個出荷するなど好調で、旧工場の3・4倍の広さを持つ新工場でさらなる増産体制を整えた。交通はJR近江八幡駅から車で約10分。

血液汚れ除去用漬け置き洗剤など

ホタテ貝焼成カルシウムを原料とした洗濯槽のカビ取り・除菌剤「洗濯槽快」、石油ドライ機用ドライ溶剤消臭剤「ドライで爽快」、ランドリーやウェットの助剤「スッキリ爽快」、消臭スプレー「パティミスト(衣類・室内用)」「ペット用」などが好評の(株)テイクネット(兵庫県尼崎市、竹中和社長)。

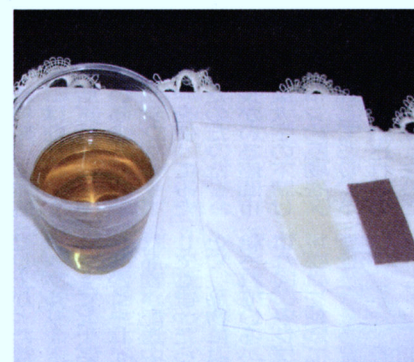
その会社がこのほど、やはりホタテ貝を原料とした、①ドロ汚れ・油汚れ用前処理剤、②血液汚れ除去用漬け置き洗剤、③パティミスト・介護用



▶10分程度でも、かなりの血液が溶け出していた



▶約50分後に取り出してみると...



血液汚染布の原布(右端)と比べると、約50分漬けただけでいかに白く戻ったか分かる

われた。常温水100℃溶け出してほとんど白布に本品を2cc入れ、かきの状態にまで戻っている。混ぜたカップに血液汚染布を浸漬して変化を観察していくというこのテストでは、漬け込み開始から10分程度でも、かなりの量の血液が洗剤液の中に溶け出していた。そして、約50分後に取り出してみると、血液の大半が

溶け出してほとんど白布の状態にまで戻っている。この後、すすぎや洗剤での洗濯を行うと、もっと白さを実感してもいいと思う」と同社。また、血液が付着してしまつた下着等の扱いに悩む女性は、男性の想像以上にずっと多いものだから、その一方で、「肌にはやさしい」「環境にやさしい」等の理由から、布ナフキンを使用する女性が増加しているという。同社では早速、女性スタッフに布ナフキンを使つてもらい、血液汚れ除去用漬け置き洗剤で洗うテストを行ったところ、スタッフたちの予想を上回る結果が出た。同社の

成分は、界面活性剤、水酸化剤、焼成カルシウム、水、天然香料。液性アルカリ性。荷姿4kg入りポリ容器。定価5500円。

と3つの製品を開発、発売を開始している。その中で同社が「特に注目して欲しい」というのが、血液の成分である蛋白質や鉄分、脂質、その他分泌液に対して効果を発揮する「血液汚れ除去用漬け置き洗剤」。使用方法は、指定の濃度(水1リットルに対し20cc)に希釈

一方の「ドロ汚れ・油汚れ用前処理剤」は、酸化して効果を発揮するもの。使用方法は、ユニフォームやシャツ等の襟や袖口など汚れのひどい部分に原液を、汚れを覆う程度に塗布し、手やブラシで馴染ませ、擦る。しばらく放置した後、通常通り洗濯する。

成分は、せつけん素地、焼成カルシウム、水。液性アルカリ性。荷姿4kg入りポリ容器。定価4500円。

また、『パティミスト・介護用』は、即効性のあるレモンガラスの香り付きの芳香消臭スプレー。ホタテ貝焼成カルシ

成分は、せつけん素地、焼成カルシウム、水。液性アルカリ性。荷姿4kg入りポリ容器。定価4500円。

また、『パティミスト・介護用』は、即効性のあるレモンガラスの香り付きの芳香消臭スプレー。ホタテ貝焼成カルシ

成分は、せつけん素地、焼成カルシウム、水。液性アルカリ性。荷姿4kg入りポリ容器。定価4500円。